

第三回忠順ありがとう大賞

(平成二十年度)

入賞作品

- ・応募総数 一五三九首
- ・永井公博先生 撰評

小学生の部

豊田市長賞

堤小一年 のぼりはづき

おかあさんくっついてるとうれしよ

かえりのみちはてをつなごうね

※手をつなぐと、お互いの心の温かさ
まで伝わりますね。はづきさんの温
かい気持ちがよくまわります。

豊田市教育委員会賞

大林小五年 板倉 知也

ありがとういつも思っているけれど

うまく言えない心の声を

※「心の声」とは、うまく言いました
ね。ことばを口に出して言うこと
が活きてきますね。

会長賞 金賞

堤小二年 中野 大輝

ありがとういつもわすれてしまっけど

つぎこそ言おうきもちをこめて

※つい言いそびれてしまう言葉を、今
後は言おうと、自分に言い聞かせて
良いですね。

会長賞 銀賞

駒場小五年 沢口 真侑

「ありがとう」たったひとこというだ

けで

みんなのこころやさしくなるよ

※下句うまく詠みましたね。言葉のこ
ころが人の心に伝わるのですね。

会長賞 銅賞

滝脇小五年 加藤 和樹

お父さんキャッチボール楽しいよ

毎週毎週ほくの相手に

※時間を作っていつもキャッチボール
の相手をして下さるお父さん。うれ

しいですね。野球うまくなるうね。

中日新聞社賞

堤小六年 永井 菜乃瀬

ありがとう緑の服着てついでくる

だから安心通学暖

※交通指導して下さる緑のおじさんへ
の感謝ですね。大きな声でこあいさ
つして通りますよう。

優秀賞(五名)

堤小三年 大藪 なとせ

ありがとうかんしゃの気持ち大事だよ
そのひとことで心ぼかぼか

※「ありがとう」は言っても聞いても、
心温まる言葉ですね。「心ぼかぼか」
の終わりの句がいいですね。

堤小二年 伊藤 まお

あたたかいごはんとおふるありがとう

こころとからだげんきになるよ

※いそがしい家事をして下さるお家の
人への感謝ですね。「心と体が元気に
なるよ」の句が佳いですね。また、文
字も大変上手に書いていました。

駒場小三年 黒木 彩

お父さんいつもやさしく力もち

そんなお父さんかっこいいね

※やさしい力持ちのお父さんたのもし
いですね。そんなお父さんへの感謝
の気持ちがこもっています。

堤小一年 近藤 りゆうせい

おかあさんあつたかふとんありがとう
よくねむれたよありがとうね

※お母さんの心づかいを感じた気持ち
ですね。よく休んで、よい明日を迎
えましょう。

滝脇小三年 柴田 たけし

お父さん仕事を毎日つかれるね

休みもないねありがとう

※毎日、お仕事で忙しいお父さんです
ね。お元気で活動してくださること
を祈りましょう。



中学生・一般の部

豊田市長賞

天王町 志賀 雪子

幸せは誰かのために生きることと老い
心戒め家族に和む

※「幸せは誰かのために生きること」という他利報謝のお心掛けが有難い。そうしてお心で家族に和んでおられる姿が美しい。

豊田市教育委員会賞

井上町 鶴生 ため

歩く友語らう友どちあらばこそ
わが残生は活きているなり

※お友達と親しむ余生を嬉しく自覚さ

れていて良いですね。

会長賞 金賞

前林中三年 永井 秀登

ありがとう嬉しかったよありがとう
その一言で心が晴れる

※「ありがとう」を繰り返し(リフレイン)で詠んでいて、一層こころが晴れやかにになります。

会長賞 銀賞

前林中一年 広瀬 有紗

お母さん仕事熱心まぶしいな

頑張ることを教えてくれる

※お母さんのお仕事の様子を見ての感じですね。あなたもお母さんのようになりたいですね。

会長賞 銅賞

稲武町 林 泰子

還暦の我に米寿の母がいて

世話をやきくるありがたきかな

※親はいくつになっても、吾が子のことと案じて下さるのですね。親娘ともご長命でありがたいことです。

中日新聞社賞

前林中三年 糟谷 実由

ありがとう毎日共に笑いあい

絆深めた大事な仲間

※お友達への感謝の気持ちですね。ご縁があつて、絆深めたお友達です。これからも、大事に仲良くしましょう。

優秀賞(五名)

前林中三年 田中 健人

みなさんに伝えたい言葉ありがとう

すべてのものに感謝をこめて

※生きてゆくために、恩恵を受けるすべての人や、すべてのものに感謝の気持ちを持つことは、本当に大切な心ですね。

高岡町 早川 寛子

折り折りにこころ彩る花木あり

夫の丹精謝します吾は

※折り折りのこころを和ませてくれるご夫君丹精の庭木。心豊かになります。

高町 久保 充恵

今こそが出番と津市の施設まで

笑わせに行く母百歳を

※遠くの施設にいらつしやるお母さんの笑顔を見に行くお出掛け。大変でしょうが高齢のお母さんも待っていらつしやることでしょう。

前林中一年 杉浦 諒

お父さん家族のために働いて

頑張る姿はくのがれ

※「ぼくのがれ」の結句が佳いですね。お父さんのような頑張る人になろうね。

堤町 石川 巖

新しき社の前で拍手うち

今に生かされる幸せにひたる

※添書きに「神社の新築にたずさわつて」とありました。生かされる今の立場の謝恩も含めてのご祈念だったことでしょう。

* * *

第三回「忠順ありがとう大賞」に総

数千五百三十九首の応募を頂くことができ、大変嬉しく思っています。

平成二十一年二月十一日、事務局での第一次審査を経て、永井公博先生による最終審査により、以上二十二名の方が入選されました。おめでとうございます。

また、永井先生には、入選作品の講評を添えていただきました。ありがとうございます。

ほほえましい家族の風景、友達のことなど、心温まるいろいろな感謝の気持ちが入められた作品ばかりです。

今回は、大林小学校、滝脇小学校からもたくさん作品を寄せて頂くことができました。応募して下さった大勢の方々、授業や行事等で大変お忙しい中、協力して頂いた小、中学校の先生方に感謝致します。

事務局 川村